

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年10月14日
【四半期会計期間】	第101期第1四半期（自平成23年6月1日至平成23年8月31日）
【会社名】	小津産業株式会社
【英訳名】	OZU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中田 範三
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
【電話番号】	03(3661)9400
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画室長 稲葉 敏和
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
【電話番号】	03(3661)9400
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画室長 稲葉 敏和
【縦覧に供する場所】	小津産業株式会社大阪支店 （大阪府大阪市中央区瓦町二丁目3番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第100期 第1四半期連結 累計期間	第101期 第1四半期連結 累計期間	第100期
会計期間	自平成22年 6月1日 至平成22年 8月31日	自平成23年 6月1日 至平成23年 8月31日	自平成22年 6月1日 至平成23年 5月31日
売上高(千円)	9,148,005	9,370,117	36,221,053
経常利益又は経常損失( ) (千円)	56,949	122,018	42,150
四半期純利益又は当期純損失( ) (千円)	13,870	120,729	366,013
四半期包括利益又は包括利益(千円)	6,846	129,308	315,110
純資産額(千円)	10,894,571	10,618,028	10,572,387
総資産額(千円)	19,576,777	18,469,804	18,404,887
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額( ) (円)	1.66	14.43	43.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	55.7	57.5	57.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第100期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定及び締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により停滞を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化も進み、生産活動も持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の金融不安や米国の景気停滞懸念の高まりのほか、それらに伴う円高の進行や株価の下落もあり、国内の景気全体の先行きについても不透明感が強まってまいりました。

このような状況のもと、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社、以下同じ）といたしましては、引き続き市場ニーズに迅速に対応した高付加価値商品の提供を推進し、新製品の開発やグローバルな視点での新規市場開拓に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は93億70百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益は1億22百万円（前年同期比114.3%増）、四半期純利益は1億20百万円（前年同期比770.4%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### (不織布事業)

国内につきましては、東日本大震災の影響による国内産業の稼働率低下に伴う不織布製品の需要の落ち込みや、印刷業界・出版業界における洋紙の需要低迷などにより、売上高は低調に推移しました。海外につきましては、円高の影響等により前年同期に比べ粗利率は低下しましたが、光学機器メーカーやエレクトロニクス産業の稼働率が回復基調にあり、総じて堅調に推移しました。また、国内・海外ともに販売費が減少したこともあり、営業利益は増益となりました。

また、連結子会社の日本プラントシーダー(株)が担うアグリ分野では、福島第一原子力発電所の事故に伴う風評被害等による近隣地域での作付け減少の影響はあったものの、北東北、北海道地方においては好調であり、また、海外向けも好調を維持しており、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は27億69百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は1億26百万円（前年同期比44.4%増）となりました。

#### (家庭紙・日用雑貨事業)

連結子会社のアズフィット(株)が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、依然としてトイレトペーパーやティシュペーパーの価格が低迷しており苦しい状況が続いておりますが、東日本大震災直後の消費者の買いだめによる販売数量の増加等により売上高は増加しました。また、前連結会計年度より行っている物流センター統廃合等の効率化により、販売費の削減が進んでまいりました。これらの結果、売上高は65億81百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント損失は0百万円（前年同期は21百万円のセグメント損失）となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業につきましては、賃貸不動産のテナント減少等により、売上高は18百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

なお、屋内型水耕栽培設備による野菜の生産・販売を行う「日本橋やさい」事業につきましては、平成23年9月をもって工場の稼働を停止いたしました。

注) 連結子会社の日本プラントシーダー(株)およびアズフィット(株)の決算期は2月末日のため、当第1四半期連結累計期間には各社の平成23年3月から同年5月の実績が反映されております。

( 2 ) 財政状態の分析

( 資産 )

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて64百万円増加し、184億69百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加2億23百万円、「建物及び構築物(純額)」の減少37百万円であります。

( 負債 )

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し、78億51百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加80百万円、「未払法人税等」の減少37百万円であります。

( 純資産 )

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて45百万円増加し、106億18百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加37百万円であります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、6,494千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループ全体の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成23年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,435,225	8,435,225	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	8,435,225	8,435,225	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年6月1日～ 平成23年8月31日	-	8,435	-	1,322,214	-	1,374,758

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 69,800	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,359,000	83,590	同上
単元未満株式	普通株式 6,425	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,435,225	-	-
総株主の議決権	-	83,590	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式100株(議決権の数1個)含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
小津産業株式会社	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号	69,800	-	69,800	0.83
計	-	69,800	-	69,800	0.83

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,321,095	3,357,799
受取手形及び売掛金	5,843,410	6,067,377
有価証券	101,951	101,972
商品及び製品	1,169,480	1,263,535
原材料	241,649	240,598
繰延税金資産	75,825	51,017
その他	731,463	544,084
貸倒引当金	7,094	9,373
<b>流動資産合計</b>	<b>11,477,782</b>	<b>11,617,010</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,418,864	5,411,556
減価償却累計額	3,091,303	3,121,803
建物及び構築物(純額)	2,327,561	2,289,753
機械装置及び運搬具	384,724	384,762
減価償却累計額	324,759	328,379
機械装置及び運搬具(純額)	59,964	56,383
土地	1,760,344	1,736,444
リース資産	3,450	3,450
減価償却累計額	1,437	1,610
リース資産(純額)	2,012	1,840
その他	141,737	142,050
減価償却累計額	112,367	111,467
その他(純額)	29,370	30,582
<b>有形固定資産合計</b>	<b>4,179,253</b>	<b>4,115,004</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	154,391	143,363
リース資産	48,160	42,322
その他	121,655	114,492
<b>無形固定資産合計</b>	<b>324,206</b>	<b>300,178</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,723,466	1,769,133
長期貸付金	34,616	35,869
繰延税金資産	21,481	21,618
その他	672,596	639,203
貸倒引当金	28,516	28,214
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>2,423,644</b>	<b>2,437,610</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,927,105</b>	<b>6,852,793</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,404,887</b>	<b>18,469,804</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,729,564	3,810,380
短期借入金	900,000	920,000
1年内返済予定の長期借入金	605,989	602,481
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
リース債務	24,548	24,680
未払法人税等	75,155	38,133
賞与引当金	48,865	102,471
役員賞与引当金	1,520	-
その他	621,169	534,132
流動負債合計	6,506,812	6,532,279
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	27,341	21,122
繰延税金負債	237,725	244,239
退職給付引当金	71,976	72,716
役員退職慰労引当金	83,420	85,477
その他	55,223	45,940
固定負債合計	1,325,687	1,319,496
負債合計	7,832,500	7,851,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	7,691,036	7,728,111
自己株式	82,200	82,214
株主資本合計	10,306,017	10,343,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266,369	274,949
その他の包括利益累計額合計	266,369	274,949
純資産合計	10,572,387	10,618,028
負債純資産合計	18,404,887	18,469,804

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

## 【 四半期連結損益計算書 】

## 【 第 1 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 6 月 1 日 至 平成22年 8 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 6 月 1 日 至 平成23年 8 月31日)
売上高	9,148,005	9,370,117
売上原価	7,596,604	7,845,227
売上総利益	1,551,400	1,524,889
販売費及び一般管理費	1,500,200	1,405,152
営業利益	51,200	119,736
営業外収益		
受取利息	932	722
受取配当金	28,144	17,837
仕入割引	5,902	10,519
持分法による投資利益	643	17
その他	4,204	12,957
営業外収益合計	39,827	42,054
営業外費用		
支払利息	11,008	9,242
売上割引	826	766
為替差損	21,488	23,506
その他	754	6,257
営業外費用合計	34,078	39,772
経常利益	56,949	122,018
特別利益		
固定資産売却益	-	30
貸倒引当金戻入額	464	-
保険返戻金	-	27,462
受取保険金	-	33,542
その他	-	1,067
特別利益合計	464	62,102
特別損失		
固定資産除却損	7,525	70
投資有価証券評価損	13,365	-
災害による損失	-	3,359
その他	450	160
特別損失合計	21,340	3,589
税金等調整前四半期純利益	36,073	180,531
法人税、住民税及び事業税	16,856	35,561
法人税等調整額	5,346	24,240
法人税等合計	22,203	59,802
少数株主損益調整前四半期純利益	13,870	120,729
少数株主利益	-	-
四半期純利益	13,870	120,729

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,870	120,729
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	7,023	8,579
その他の包括利益合計	7,023	8,579
四半期包括利益	6,846	129,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,846	129,308
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間（自平成23年6月1日至平成23年8月31日）  
該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間（自平成23年6月1日至平成23年8月31日）  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間（自平成23年6月1日至平成23年8月31日）  
該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 （自平成23年6月1日 至平成23年8月31日）
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用） 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

【注記事項】

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年6月1日 至平成22年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年6月1日 至平成23年8月31日）
	（千円）	（千円）
減価償却費	57,915	64,182
のれんの償却額	11,027	11,027

（株主資本等関係）

前第1四半期連結累計期間（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月27日 定時株主総会	普通株式	83,656	10	平成22年5月31日	平成22年8月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間（自平成23年6月1日至平成23年8月31日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月26日 定時株主総会	普通株式	83,654	10	平成23年5月31日	平成23年8月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,890,516	6,235,901	9,126,417	21,587	9,148,005	-	9,148,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,805	4,134	27,940	37,647	65,587	65,587	-
計	2,914,322	6,240,035	9,154,357	59,234	9,213,592	65,587	9,148,005
セグメント利益又は損失( )	87,673	21,673	65,999	6,334	59,665	8,464	51,200

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額8,464千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,769,541	6,581,594	9,351,135	18,982	9,370,117	-	9,370,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,134	2,798	7,933	35,655	43,588	43,588	-
計	2,774,675	6,584,392	9,359,068	54,637	9,413,706	43,588	9,370,117
セグメント利益又は損失( )	126,614	112	126,501	2,295	128,797	9,060	119,736

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額9,060千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	1円66銭	14円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	13,870	120,729
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	13,870	120,729
普通株式の期中平均株式数(株)	8,365,603	8,365,396

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月14日

小津産業株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂本 満夫 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森田 祥且 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小津産業株式会社の平成23年6月1日から平成24年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小津産業株式会社及び連結子会社の平成23年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。